

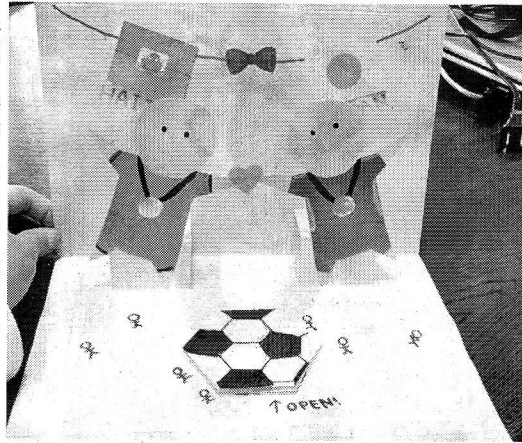
# 「コレラに気を付けて」

## 岡山の中学生らハイチに手紙

「コレラに気を付けて」「また会いたい」……。今年1月の大地震で被災したハイチの子供と、国際医療救済団体「AMDA」(本部・北区)が企画したスポーツ交流で親交を深めた中高生たちが今月、ハイチの子供たちにメッセージカードを贈った。カードは、ハイチでコレラ禍の緊急医療支援に取り組むため今月1日に現地に向けて出発したAMDAの菅波茂代表らの医療チームに託した。

【石戸諭】

8月にハイチ隣国ドミニカ共和国で開かれたスポーツ交流に参加した岡山、広島両県の中学生、大阪府の中学生サッカーチーム「FC千里中央」の選手らがメッセージカードを作った。同チームの伊藤遼祐君(12)ら選手から「ハイチの子供たちに手紙を送りたい」と提案があり、同チームとAMDAが呼びかけた。クリ



新家さんが作ったメッセージカード

AMDA提供

## サッカー交流が縁、AMDAに託す

スマスツリーを横した画用紙や、サッカー交流時の写真に「日本から応援している」「手を洗ってコレラを予防しよう」「また会える日を楽しみにしています」とメッセージが並んだ。

新庄村立新庄中学校の新家夢紬さん(15)は妹の百合恵さん(13)と共に夜通しでカード作りに励んだ。スポーツ交流以降、ハイチ関連のニュースに「つい反応してしまつ」と言う。気になるのはコレ

### 「また会える日楽しみに」

ラの流行だ。「コレラの流行を防ぐには『手を洗う』のが大事だけど、ハイチの環境でそれができるのか。気になります」と話していた。

AMDAではハイチで、10月中旬からコレラ感染が急速に拡大したことを受けて、緊急医療支援に菅波茂代表ら医師、看護師、義肢装具士などを派遣。1月の大地震で緊急救援を行ったハイチで治療にあたっている。